

# 自治会 あつぎ 第64号

## 目 標

- ◎みんなの手で育てようあすの自治会を
- ◎地域づくりは市民の民主的・自発的活動から
- ◎行政と協働で築く豊かな文化

平成25年10月1日発行

発行 厚木市自治会連絡協議会  
 編集 厚木市自治会連絡協議会広報部会  
 電話046 (225) 2101

ネットは

## 縦と横のつながりで 魅力あるまちづくりを

厚木市自治会連絡協議会  
 会長 小瀬村 泰久



厚木市自治会連絡協議会  
小瀬村会長

### 自治会連絡協議会とは

今年度より厚木市自治会連絡協議会会長に就任いたしました小瀬村でございます。

皆様方には、日頃から自治会活動に特段のご理解・ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、自治会では、安心・安全なまちづくり、明るく住みよい地域づくりのため、様々な活動を行っております。身近な事から大きな事まで、地域を取り巻く課題は多岐にわたっています。地域のことには地域に住む皆さんが一番よく分かっているはずで、同じ地域の住民同士が知恵と力を出し合い、解決に向けて協力し合うのが自治会の持つ重要な役割の一つではないでしょうか。

いくつかの単位自治会が集まって構成されているのが地区自治会連絡協議会です。厚木市には15地区ございますが、各地区の会長・副会長は厚木市自治会連絡協議会の理事として参画いただいております。現在は32名で構成されております。

厚木市自治会連絡協議会は、毎月の会議で市全体に関わる議題や報告等を議論し、その結果を地区自治会連絡協議会（地区自治会長会議）で報告しています。また、各地区自治会連絡協議会では、地区内の課題や周知案件などを回覧等で住民に知っていただくなど、情報提供や市及び地区の課題解決に向けての協議、情報交換、自治会活動における相談等の交流も行っております。

このような組織の縦のつながり・横のつながりを密にしていくことで、厚木市民全体が連携・協力を図り、魅力あ

るまちづくりを目指しております。

### 自治会活動に参加しましょう

自治会では、地域の皆さんが明るく健康で過ごせるよう、様々なイベントなども開催しています。

私自身が、地域活動で常にかがけていることの一つに仲間づくりがあります。みんなで協力して自治会活動に取り組んだ後の爽快な気持ちを忘れることはできません。誰でも初めて参加する行事は緊張するものです。まずは一度参加してみてください。新しい出会いや発見があるかもしれません。皆様の参加を心よりお待ちしております。

### 厚木市自治会連絡協議会(15地区・219自治会)

厚木北地区 (11)	小 鮎地区 (29)
厚木南地区 (12)	南毛利地区 (36)
依知北地区 (13)	南毛利南地区 (11)
依知南地区 ( 8)	玉 川地区 (15)
睦合北地区 ( 7)	森の里地区 ( 5)
睦合南地区 (12)	相 川地区 (15)
睦合西地区 ( 8)	緑ヶ丘地区 ( 7)
荻 野地区 (30)	( )内は単位自治会数

### 平成25・26年度役員紹介

- 会 長 小瀬村泰久(南毛利)
- 副会長 前場 政行(玉川)
- 会 計 尾崎 常雄(荻野)
- 庶 務 山本 忠男(森の里)
- 会 務 山本 勝美(睦合南)
- 三田 哲夫(厚木北)
- 川崎 勲(依知北)
- 渡邊 勝三(依知南)
- 大澤 雄次(睦合北)
- 池永 和夫(睦合西)
- 渡邊 征一(南毛利南)
- 内田 幸喜(相川)
- 古長 重幸(緑ヶ丘)
- 三木 智之(厚木北)
- 足立原 将(厚木南)
- 松野 勝(依知北)
- 倉田 光政(依知南)
- 山口 末夫(睦合北)
- 又村 孝夫(睦合南)
- 栗原 富栄(睦合西)
- 古道 弘(荻野)
- 毛利 昇(荻野)
- 山田 充(小鮎)
- 前田 満(南毛利)
- 佐藤 文彦(南毛利)
- 内井 嘉巳(南毛利南)
- 宮内 一男(玉川)
- 永嶋 信一(森の里)
- 菊池 美明(相川)
- 佐々木安雄(緑ヶ丘)

松田清司 小鮎地区会長は、9月末をもって勇退されました。

### ゲリラ豪雨からの贈り物

厚木南地区  
南町自治会  
会長 池内 賢一

去る4月6日未明に発生した100ミリ豪雨によって冠水した16世帯の被害状況は、「床下浸水・トイレの使用不能・車の廃車」と散々でした。

この状況を逸早くインターネットで小林市長へ報告したのが、被害者のひとりAさん(43歳)。

その後、14日に開催した自治会の定期総会で「状況説明と改善要請」を強く迫ったのが、被害者Bさん(38歳)でしたが、この差し迫った課題を出席者全員が共有することによって、自治会が総力を挙げて取り組むべきとの強い意志が固まった瞬間でした。

即刻、C顧問が「道路維持課」へその対応策の確認に向向

ていただくとともに、更には市会議員へのバックアップ要請を行うことで、自治会の総意をスピーディに行政へ届けられたのではと考えています。

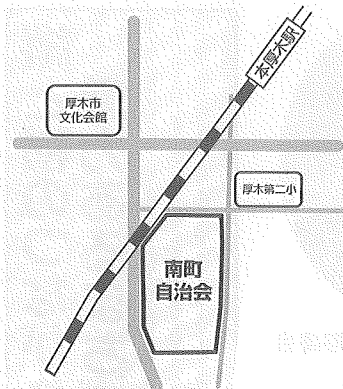
早速、5月29日に市の担当課から具体的な「改善計画」の説明を受けることとなり、

その素早い行動はこれまでの行政イメージを覆し、自治会全体に安堵感が満ち溢れたことは間違いありません。

そして「一次工事」が7月6日には完了し、従来の排水管1本に加えて、「2本の増設と、側溝の拡幅」など大幅な改善が図られ、更には今後の排水状態によっては、引き続き「二次工事」も実行していただけることになっていきます。

今回の自治会活動の結論は、長年の冠水不安が解消されたことは勿論のこと、被害者の皆さんと自治会との絆の深まりとともに、行政との信頼関係がより強固となる貴重な実務体験となったことでした。

関係者の皆様感謝申し上げます。雨から届いた「贈り物」は、今後の南町を支える無形の財産として大切に保存することをお誓いいたします。



### 「ぼん祭り」の開催について

依知北地区  
下川入第二自治会  
会長 松野 勝

前年より、子どもを対象とした行事に取り組んでおります。その一つとしては、タイムルの子ども祭りです。

こうした事業は、本来、子ども会において行われておりましたが、子ども会が会員の減少で解散となったことから自治会が受け継ぐ形で行うことになりました。

今年も、5月に行っておりませんが、多くの児童が参加し盛大に開催することが出来ました。当日は、地元画伯の指導による『お絵かき教室』、じゃんけんゲーム、輪投げ、お菓子釣り等の屋内ゲームを行い、子ども達も熱心に、時には歓声をあげ取り組んでおりました。そして、最後には、青少年健全育成会の皆さんが、焼きそば、ポップコーン、綿菓子を用意していただき、お昼を食べて解散となりました。

なお、今後の行事としては、子ども神輿、どんど焼きを予定しております。



子ども祭りでのお菓子釣り

### 伝統行事で地域親睦の場づくり

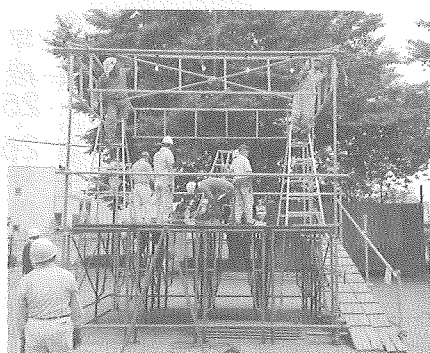
睦合南地区  
中村自治会  
会長 宮下 義之

中村自治会は、妻田薬師と妻田神社に挟まれた地域にあります。当初は地元の会員が多かったのですが、その後転入会員も増えました。

会員相互の親睦、連帯を図るため、地元で伝わる様々な行事を引き継ぎ、開催しています。

8月に開催の盆踊り大会は、昭和47年に再開され、今年で42回になります。会員総出でやぐらを組み上げ、子どもからシニアまで盆踊りを楽しんでいきます。

また、妻田神社祭礼に繰り出す子ども神輿は、昭和52年



盆踊り大会のやぐら組立

に当時の自治会員有志23名が金工、彫刻、絵を分担制作し、組み上げました。重量は90キロ以上ある本格的なものです。平成8年に新調した山車にも地域の人のいる絵が描かれ、先輩会員の想いが込められています。

祭太鼓も太鼓保存会の指導で子どもたちに引き継がれています。その他、妻田薬師のお目ん玉作りや、どんど焼きの団子作り等も行っています。

一方、睦合南地区での運動会や、各種スポーツ大会にも積極的に参加し、地区の仲間との親睦、交流を図っています。

中村自治会発足時のシンボルマークに込められた「皆が肩を組んで輪を作り地域の発展、成長を願う」を引き継ぎながら、安心、安全、楽しい地域づくりを目指し、日々の活動を進めてまいります。



### 地域のつながりを

荻野地区

鳶尾一丁目自治会

会長 横岩 康平

鳶尾一丁目自治会は、鳶尾団地の一番東側に位置し、約440世帯の会員で構成しています。今年で自治会創設38年目を迎えました。今年度の事業方針は、①自主防災の充実・強化、②会員相互のつながりの強化、③非会員住民の加入促進並びに連携強化として、活動を進めております。

活動や行事の内容を二つ、二つご紹介しますと、最大の行事は、何と言っても夏のお祭りです。会員手作りで26回の回数を重ね、昨年25回目を機に「鳶尾二丁目ふるさとまつり」と銘打ち実施しました。会員家族はもとより地域の多くの方の来場もあり、真夏の夜の一時を楽しんで頂いております。お孫さんを連れて里帰りし楽しんでい

る光景も見られ、ふるさとまつりを実感しております。また、特徴ある活動として、「作品展」を開催しています。自治会館を会場に絵画や写真・編み物など80数点の作品が出品され、鑑賞しております。

このようにいろいろな活動を通じ会員同士さらには地域

とのつながりが強められ、何かあった時に助け合う(共助の)ベースになるものと確信しています。なお、自治会のホームページを開設していますのでご覧下さい。(検索は「鳶尾一丁目自治会」)



こども太鼓と盆踊りで盛り上がるふるさとまつり

### 思いやり、若者参加の地域づくり

荻野地区

用野自治会

会長 神崎 勉

私たちの自治会は、国道412号線を津久井方面に向かい、長い荻野地区にあつて一番奥の60軒弱の用野地区と言

う小さな集落です。前には高取山・華厳山・経ヶ岳があり、静かで生活するのに良い所と

感じています。経ヶ岳は、海拔633メートルで、春の山桜・秋の紅葉は、とつてもきれいです。集落の中ほどに陽福寺と呼ばれている寺があり、この寺は真弓地区にある由緒ある松石寺の隠居寺だそうです。明治初期には住職もおられ、正式名は陽福山全應院と言う伝えを聞いたことがあります。4月9日には大きな舞台を境内に設置し、盛大に祭りが催されたそうです。



防災訓練の様子

現在は桜祭りとしてカラオケやビンゴゲームなどをして親睦を図っています。夏に青少年健全育成会の夕涼み会、特に流しそうめんは人気で、長い竹の周りには大勢のこどもたちが集まり、楽しそうです。9月には防災訓練を実施し、班長指示のもと実践的な訓練を行い、技術を身に付け、意識高揚の徹底をしております。年2回の美化清掃には大勢の参加を頂き、河川道路の清掃を実施

しております。1月はだんご焼きで、こどもたちがお飾りを集めてきます。大勢の人が参加しております。

### あじさいロードで 地区美観

小鮎地区

千頭中下自治会

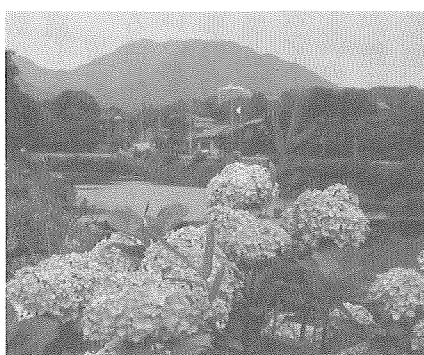
会長 江藤 孜

林地区の家並みを過ぎると、田園が開けすぐに小鮎川の堤防敷きを県道60号線が宮ヶ瀬ダムへ続きます。正面に大山を望み、対岸の土手に咲くあじさいが、うっとうしい梅雨時にしばし心を癒してくれます。

そもそも、ふるさと小鮎の美化環境向上のため、青少年健全育成会が平成元年から5年間に渡って植え続けた苗3000本余の成長したあじさいが、2キロメートル上流ま

で田園の景観に四半世紀の歴史を刻んできました。最近では、河川沿いの自治会事業として、保全管理の草刈を2回行なっています。千頭自治会としてさらに充実したあじさいロードにするには、くずやヤブカラシなどのつるに覆われて枯れてしまった切れ間への補植や、剪定・施肥など盛り沢山の作業が想定されますが、併せて、路地・空き地などへも目を向け、地区全体の環境美化活動が必要になります。

今年、安心・安全セーフコミュニティ推進地区の指定を受け、自主防災隊を中心に「誰もが安心して安全に暮らせるまち」を目指し、パトロールの充実強化を図ります。環境美化と防犯・防災両面から、先輩諸氏が築いた、明るい健康的な地域づくりの推進に引き続き努めたいと思います。



満開のあじさい

### 安心安全サーブコミュニティ推進 地区の活動について

小鮎地区 宮の里地区

4自治会代表

山田 充

宮の里地区は、平成24年度安心・安全サーブコミュニティ推進地区に指定されました。

この地区には、4自治会（宮の里中央・第1住宅・第2・東）があります。

加入世帯数は、730世帯で、4自治会が合同で年間行事を実施しています。

この度、宮の里が推進区の指定を受け、各種団体・組織（青少年健全育成会・交通安全母の会・小中学校PTA役員・民生委員児童委員・夢クラブ宮の里・児童館）に声をかけ、安心・安全サーブコミュニティ推進地区の取組を行って来ました。

昨年の9月9日に合同の協議会を発足させ、毎月第3土曜日に安心・安全パトロールの実施を決定し、また地域をよりよく知るため、地域安全マップづくりをこの活動の一環として実施し、作成することにしました。

今年2月3日には、科学警察研究所の原田先生による作成方法等の講義と説明を受けた後、宮の里地区を3コースと

飯山小学校コースの4班に別れ、フィールドワークを行い、完成に至りました。

毎月のパトロールには、20数名の参加者があり、防犯に対する意識の高揚と波及効果を図ることができました。

今後は、地域安全マップの活用と「犯罪に強いまちあつぎ」を目指し、自分たちのまちは、自分たちで守るという、自主防犯意識を高め、身近な安心・安全な活動を積極的に展開することにより、誰もが安心して安全に暮らせるまちづくりを推進したいと思えます。



飯山小学校登校・下校班

### 地区最大の行事 盆踊り大会を終えて

南毛利地区

愛名自治会

会長 佐藤 孝博

4単位自治会に係る愛名地区最大の行事は、夏恒例の盆

踊り大会です。今夏も多くの方々のご協力を得、去る7月27日（土）愛名青少年広場で開催する事ができました。鉄骨製のやぐらの組み立て等々のご支援に感謝申し上げます。

午後六時の花火を合図に開会し、セレモニーの後に盆踊りと綿菓子等8店の模擬店がスタートしました。

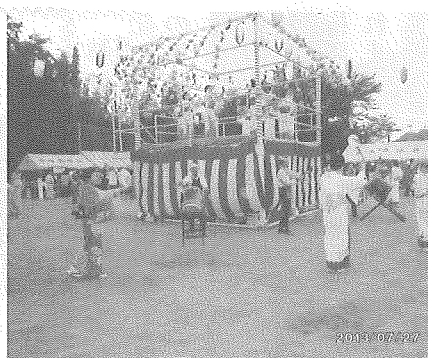
太鼓連や踊り3団体の皆様は、例年どおり出演して頂き、お陰様で全員が炭坑節を踊り、楽しい祭りとなりました。引き続き抽選会を始めた直後、豪雨に見舞われ、一斉にテント内に避難することになりました。どうか抽選も終わりに、在場の人たち全員に参加賞を配布して閉会になりました。

当夜は、元自治会役員等も手伝って頂き、重要物品を老人憩いの家に運び込み、翌日は同様に総力を挙げてテントを乾かす等、片付けに精を出しました。

今夏の盆踊り大会は、目標とした作業の安全とか食への安全は達成され、会食や反省会等を通じて参加者相互のコミュニケーションが図られ、良好なものとなりました。

しかし、激しい雷雨等に見舞われたときの対処や、食品の衛生管理、人手不足で休憩な

く活動した人たち等々、課題を残したのも事実です。関係者と共に、安心安全で楽しい夏祭りの開催を誓いあい解散しました。



愛名盆踊り大会

### 自治会未加入者との 交流に向けて

南毛利地区

エヌエステア本厚木自治会

会長 篠沢 敏弘

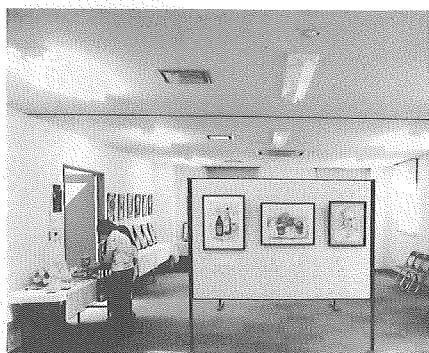
当エステ・スクエア本厚木自治会は、南毛利地区恩名五丁目にあります。集合住宅（3棟350世帯）のため、独立した自治会として活動しております。

尼寺工業団地の一角にあり、西側に丹沢の大山があり、真下には、「沖原桜ヶ丘公園」の木々、恩曾川に沿っての田園風景等を一望に見渡せる環境にあります。自治会結成から十数年となりませんが、年々、会員

数の増減が安定せず、毎年苦慮している次第です。

近隣の自治会の様な魅力ある活動には、今一つ充実していないのが一因ではと思いい、年間行事の「夏祭り納涼祭」「どんど焼き」等の定番の他、新しいイベントとして、数年前に「ふれあいの会」と称して、住民の方が趣味として取り組んだ作品、絵画、彫刻、押し花等の作品を提供していただき、作品展を開催して来ましたが、今年度は、来場者や作品数も最大となりました。来場者からも作品に対する絶賛の声や近隣の方の来訪もあり、一段と住民交流に大きな成果が得られたと判断!!。今後の自治会活動に生かし、未加入者対策に取り組んでまいります。

ぜひ自治会への加入促進に繋がるアドバイスを頂けると幸いです。



「ふれあいの会」作品展